

10月4日(日)

## 「森林ボランティア養成講座」開講

10月4日(日)、森林の整備や保全に関わる活動を行ってみたいと考えている方を対象とした森林ボランティア養成講座を、雷別国有林で開講しました。今回は、「地拵と植樹体験」、「森林ときのこの関わり」と題して行いました。

「地拵と植樹体験」では、大きな草刈り鎌を使用して、自らが植付を行う場所のササをきれいに刈払いました。また、植樹体験では、イタヤカエデ・ヤチダモ・ダケカンバを一本一本ていねいに植えたほか、マルチキャビティコンテナで育成したハルニレの苗木を、パイプ式の専用植付器を使用して植樹しました。

「森林ときのこの関わり」では、釧路キノコの会会長の高島氏と副会長の青島氏を講師に招き、森林にとってきのこはなくてはならない存在であることについてお話をいただきました。また、参加者全員でキノコ観察会を行い、キノコの名前を覚えたり、食用か否かを熱心に聞き、食用になるキノコをお土産として持ち帰りました。

参加者の皆さんは、森林内での仕事のつらさと、楽しみ方の両方を学んだことと思います。次回は、12月6日にパイロットフォレストで「保育間伐と炭焼き」を行います。

(自然再生指導官 朝倉)



自然再生事業地の説明



地拵作業



地拵作業



専用植付機を使った植付



作業地をバックに記念撮影



キノコの観察



キノコの観察



ヌメリスギタケモドキ